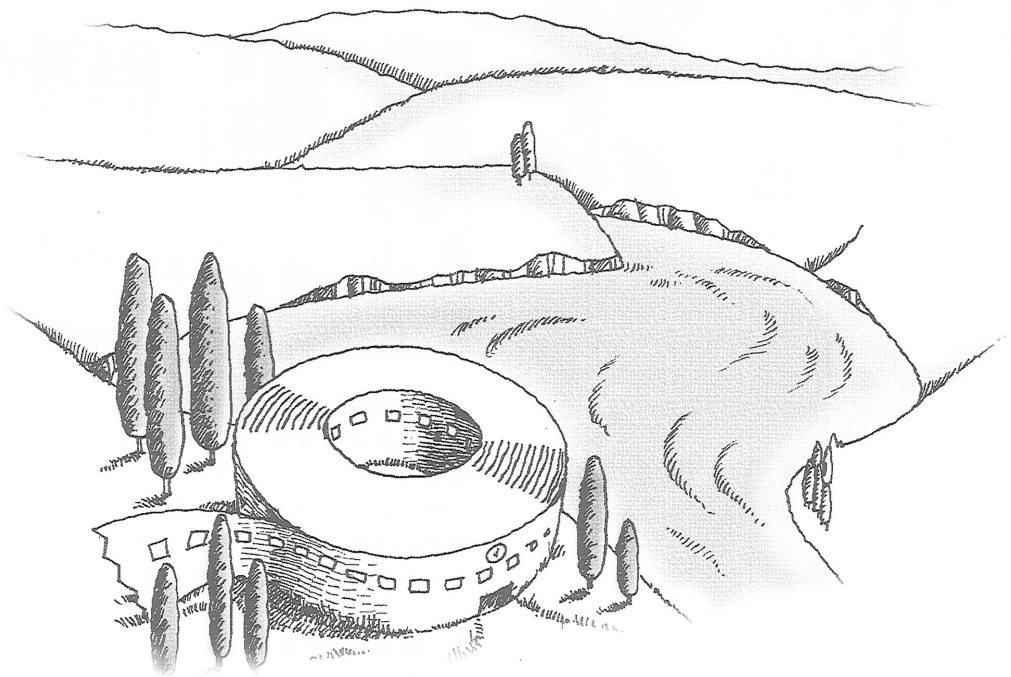


# 道 教 組

▶ DOKYOSO NEWS vol.515



## えがお署名提出、公務員賃金改善！ 7・27中央行動

配偶者手当削減、中央と地方の格差を広げる人事院勧告  
「教育のつどい2016 in 静岡」に全国から延べ5,000名が参加  
軍事大国ではなくゆきとどいた教育の前進を  
わたしのとっておき

## えがお署名提出、 公務員賃金改善！

# 7・27中央行動

蒸し暑い曇天のもと、各省庁が立ち並ぶ東京・霞が関では、16夏季闘争の最大山場の中央行動がありました。道教組からは、新保・古川両副委員長と榎木書記長の3名が参加しました。

### 1. '17概算要求に向けた文科省前要求行動



文科省前では、来年度政府予算の教育予算増を求める要求行動をしました。

全教からの情勢報告や全国5ブロックの代表が、身近な実態とからめて教職員定数増や特別支援学校の設置基準策定、返還不要の給付制奨学金制度の創設など、抜本的な教育予算増を求め発言しました。

集会終了後、「えがお署名」88,696筆（道教組分2,423筆）を文科省に提出しました。

### 2. 内閣人事局前要求行動

定年延長・大幅増員実現、労働基本権回復、公務・公共サービスの拡充を求め、内閣人事局前要求行動をしました。

ここでは、冒頭に「雇用と年金の確実な接続を求める署名」98,689筆を提出しました。

続いて道高教組の佐藤副委員長が決意表明に立ち、北海道における教職員の再任用の実態（任用率6～7割）を報告し、希望者全員の再任用の実現とあわせて定年年齢65歳までの延長を求めました。

### 3. 7・27中央総決起集会

メイン集会が日比谷野外音楽堂で開催されました。

全労連井上事務局長は情勢報告で、「中央最賃審議会は、2010年以来最高額の引上げ(21～25円)

と言うが、この金額では日本経済も回復に向かわない。秋の臨時国会では、TPPや社会保障、労働法制など課題は山積。参院選で広がった新たな共同をさらに前進させよう」と強く呼びかけました。

この他、京都自治労連、生協労連・コープぎふ、東京土建、熊本県労連、全農協労連の5団体の代表が、たたかう決意表明を行いました。



### 4. 人事院包囲要求行動

公務員賃金改善、配偶者手当改悪阻止、「給与制度の総合的見直し」の中止を求める人事院包囲行動では、8月8日予定の人事院勧告目録でも「配偶者の扶養手当見直し」の具体案を示さず、強行しようとする人事院の態度を厳しく追及しました。

### 5. 国会請願デモ

中央行動の最後には、日比谷公園から銀座を歩いて有楽町までを要求項目を掲げてデモ行進しました。



## 配偶者手当削減、 中央と地方の格差を広げる

# 人事院勧告

8月8日、人事院は、国会と内閣に対して国家公務員給与の改定を勧告しました。

### ＝3年連続の引き上げ勧告・・・、しかし＝

国家公務員一般職の給与が、民間給与よりも月例給で708円(0.17%)、一時金に0.1月分較差があるとして、3年連続で引き上げられます。

俸給表の改定では、初任層から若年層(概ね30代)で月1,500円、その他は月400円引き上げ(平均改定率0.2%)られます。

しかし、この間のアベノミクスによる円高や消費税増税などにより、平均年間給与増額・率は3年間で最も低く、生活改善にはほど遠い勧告です。

さらに、708円の内訳を見ると、俸給448円、「本府省業務調整手当」206円、はね返し分(俸給改定による諸手当の増減分)54円となっています。

この「本府省業務調整手当」とは、中央省庁に勤務する職員に支給されている手当ですので、地方に勤務する国家公務員には支給されません。よって、中央と地方で働く国家公務員の間には、昨年の地域手当に続き、さらに格差がうまれることとなります。

### ＝配偶者扶養手当の見直し・・・、改悪！＝

民間企業や公務職場の配偶者扶養手当をめぐる状況の変化から、現行13,000円の手当を6,500円

(半額)に2年かけて減額されます。それによる原資を使って、子どもの扶養手当を現行6,500円から1万円に引き上げるとしています。

しかし、詳細を見ると、本府省課長級職員には配偶者扶養手当の支給を止め、本府省室長級職員には3,500円とするなど、ゼロまたは大幅減額にしている内容も盛り込まれています。このことが、今後10月に勧告される「北海道人事委員会勧告」で、学校職員の管理職の配偶者扶養手当にどのような影響が出るか懸念されます。

このように、勧告は労働基本権が奪われた国家公務員の代償機関である人事院の役割を投げ捨て、政府がすすめる「給与制度の総合的見直し」に追随したものになっています。私たち道職員の手当改定にも大きく影響します。秋のとりくみに備えましょう。

### 給与勧告のポイント

- ・月例給708円(0.17%)  
【俸給448円、本府省業務調整手当206円、はね返し分54円】
- ・ボーナス0.1月分(4.2月→4.3月)
- ・配偶者扶養手当13,000円→6,500円

## 10月1日から

# 北海道の最低賃金が22円上がり786円に

8月5日、北海道地方最低賃金審議会は、2016年度の北海道最低賃金を現行の764円を22円引き上げて786円とする旨を答申しました。

過去20年間で最高の改定額となったことは、最賃引き上げ運動の成果の反映ではありますが、ワーキングプアや実質賃金の低下による消費低迷が大きな問題である現状では、まったく不十分な答申です。

道労連が実施した「最低生計費試算調査」にも、年間270万円以上、月額22万5千円以上、時間額1,294円以上が必要だと出ています。

今回の改定で最も高額(25円)の東京との地域間格差が143円から146円へとさらに広がります。若者などの労働力が北海道から流出し続けることは明らかでしょう。全労働者の賃上げが求められます。

# 中央教育審議会が審議のまとめを公表（8月1日）

## 次期学習指導要領で、限界とされる小学校の週28コマを超え29コマに

文科省の諮問機関「中央教育審議会の特別部会」が8月1日、審議のまとめを公表しました。

小学校5・6年生の「外国語活動」が教科に格上げされ、年間の授業時数は70コマ（1コマ45分）に倍増されます。他教科と合わせた総時間数は、4年生から6年生は年間1,015コマ、週29コマにも増えるのです。事実上の限界とされる年間980コマを超え、どう消化できるのか疑問です。

### 小学校はどう変わる

- ◇国語…漢字が20字増え1,026字に
- ◇社会…グローバル化への対応のため、地図帳の配布を4年から3年に変更
- ◇算数…必要なデータを集めて分析し、課題を解決したり意思決定したりする力を育成する
- ◇理科…観察・実験中心の探究活動を通じて、課題を解決したり新たな課題を発見したりする経験を増やす
- ◇外国語（英語）…「聞く・話す」が中心の外国語活動を3年生から前倒しする。高学年は教科化し、「読む・書く」にも慣れ親しませ、コミュニケーション能力の基礎を養う

- ◇プログラミング教育…自分の意図を実現させるための筋道を考える「プログラミング的思考」を、数学や理科などの教科の授業などで育む。総合的な学習でプログラミングも体験する

### 中学校はどう変わる

- ◇社会…地理的分野の防災・安全教育の中で、空間情報に基づく危険の予測に関する指導の充実。公民的分野で選挙年齢引き下げに伴い、政治参加の扱いを充実させる。
- ◇外国語（英語）…授業は英語で行うことを基本とする。授業で扱う現行1,200単語を1,600～1,800単語に増やす。3年生を対象に、2019年から3年に1回程度全国学力テストを実施する。
- ◇技術・家庭…技術分野に、ネットワークやデータを活用して処理するプログラミングなど、新たな指導内容を盛り込み、情報セキュリティについても充実させる。
- ◇部活動…少子化が進む中、学校単独での運営体制から一定規模の地域単位での運営支える体制を構築する。部活動の休養日や活動時間を適切に設定する。教員の負担軽減の観点から地域の協力や各種団体との連携など、運営上の工夫を求める。

### 特別支援教育はどう変わる

通級指導の児童生徒全員を対象に、小中高校で一環とした支援をするための「個別的教育支援計画」と、具体的な指導目標や指導内容などを盛り込む「個別の指導計画」を作成する。

国語で文章を目で追いながら音読が難しい場合は、読む部分だけが見える道具を活用するなど、障がいに応じた指導上の工夫を、初めてすべての教科別に示しました。

英語小5から教科化

全教科「アクティブラーニング」

2016年  
8月2日  
火曜日

北海道新聞

北海道新聞社  
〒060-0801 札幌市中央区南一条西五丁目1番1号  
TEL: 011-227-7111  
FAX: 011-227-7110  
011-227-7111  
011-227-7110

「がんばれ、ファイブズ」  
「アキアキ」

▶ 厚沢部 すてきな遊戯のまち 32

次期学習指導要領案

2016年8月1日、中央教育審議会特別部会が審議のまとめを公表しました。この中で、小学校5・6年生の「外国語活動」が教科に格上げされ、年間の授業時数は70コマ（1コマ45分）に倍増されます。他教科と合わせた総時間数は、4年生から6年生は年間1,015コマ、週29コマにも増えるのです。事実上の限界とされる年間980コマを超え、どう消化できるのか疑問です。

アクティブラーニング  
別冊や体験などを出して能動的に学ぶこと。文部科学省は「主体的・対話的で深い学び」を感じ、自ら課題を見つけ、解決する力の育成を目指すとしています。

# 「教育のつどい2016 in 静岡」が開催され、 全国から延べ5,000名が参加

報告 新保 裕 (道教組副委員長)

8月19日～21日、静岡において「みんなで21世紀の未来をひらく教育のつどい」(教育研究全国集会)が開催され、道教組関係者11名も参加しました。現地実行委員会には41団体が参加し、暑い静岡で会場警備、受付、案内などで頑張っていました。

集会テーマ「学ぼう、語ろう、いかそう 憲法と子どもの権利条約が生きて輝く教育を」を掲げ、全部で345本のレポートが報告されました。

## 開会全体集会には1,200人が参加

開会集会で現地企画「しぞーか、まんさい」があり、シンガーソングライターの中山譲さんが子どもたちとすばらしい合唱を発表し、会場と一体感がつくられました。

実行委員会を代表して、全教蟹澤委員長から「戦争する国づくり」を狙う安倍政権による「教育再生」に抗して、すべての子どもが成長・発達する教育の在り方を模索するつどいにしようと挨拶しました。

その後、「憲法と教育を語るシンポジウム」があり、清水雅彦さん(日体大教授)とママの会の長尾詩子さん、菅間正道さん(自由の森学園)が参加し、この間の情勢やとりくみの成果を聞くことができました。



## 8つのテーマで教育フォーラム開催

19日夜、8つのテーマで教育フォーラムが開催され、新保は「豊かな学びをどうはぐくむか」(学習指導要領について考えよう)に参加。

梅原利夫さん(和光大)から学習指導要領についての報告があり、「すべての学習で主体的・対話的で深い学びを推奨しているので、たとえこれまでと同じ学習であっても、深い学びに費やす時間が増えることが予想される。しかしそうであるにも関わらず、学習内容の削減は行わないと歯止めをかけている。これらは明らかに、教育現場に無理を強い、生み出す原因になる」と指摘しました。

実践的課題としては、①眼の前に生きる子どもたちの発達要求をしっかりとりえ、それに応えていくこと ②人間教育を求める社会の深部からの要求に応えること ③専門職としての教師の地位を尊重し、主体的で深い指導の実践を励ますことを重視しましょうと呼びかけがありました。

## 道教組は、教育フォーラム報告者1名、分科会のレポーター8名、司会者1名が参加しました

1日目の教育フォーラムに滝澤さん(宗谷)が招請され、「船上カメラマン」の実践を報告。8名のレポーターは、それぞれの分科会において合研で発表したレポートを発表し、全国の仲間と学習。司会者の内糸さん(檜山)は、「技術・職業」分科会で活躍していただきました。

新保は、教育フォーラム、各分科会を回り、道教組関係者の写真取材を行い、みなさんの活躍ぶりを見てきました。取材で静岡大学・県立大学の会場を回りましたが、会場が丘の斜面に建っていたため、坂の上り下り、市内移動で汗だくになりました。

20日夜の北海道交流会には、道高教組・道教組合わせて18名の参加があり、楽しく交流させていただきました。

# 軍事大国ではなくゆきとどいた教育の前進を

文部科学省は、2015年度に小中学校の新たな「統廃合の手引き」を作成し、小規模校の統廃合を押し付けようとしています。

国が本来行うべきは、教育の機会均等とその水準の維持向上です。子どもの数が減少している今、わずかな教育予算増で35人以下学級の計画的な前進は可能です。子どもたちの学ぶ権利を壊しかねない統廃合ではなく、35人以下学級などの教育条件整備こそ行うべきです。

2016年の軍事予算は、5兆541億円（前年+1.5%）になり、近年増え続けています。一方教育予算は近年減額が続き、安倍政権の教育軽視が浮き彫りになり、OECD先進諸国と比べ日本の教育予算の貧困さが顕著になっています。

軍事大国よりも教育立国（ゆきとどいた教育重視）をわたしたちはめざしています。

## 文科省へ「えがお署名」

88,696筆提出

2017年度政府予算に向けた文科省概算要求への要請で、7・27中央行動（道教組から3名参加）がありました。全国から集まった「えがお署名」88,696筆を文科省に提出し、全教は文科省への要請行動も行いました。道教組は7月末で2,423筆（昨年2,143筆）提出。

日教組はこの時期、文科省概算要求に向けた要請行動を行っていません。わたしたち全教・道教組の文科省への要請行動は、その意味でも重要です。



## 「教育全国署名」は教職員が本気でとりくみましょう！

一人30筆目標です（12月まで）

第2次安倍政権が発足以来、国による少人数学級推進は凍結され、多くの自治体が苦しい財政状況の中、独自の

財政措置により少人数学級を前進させています。

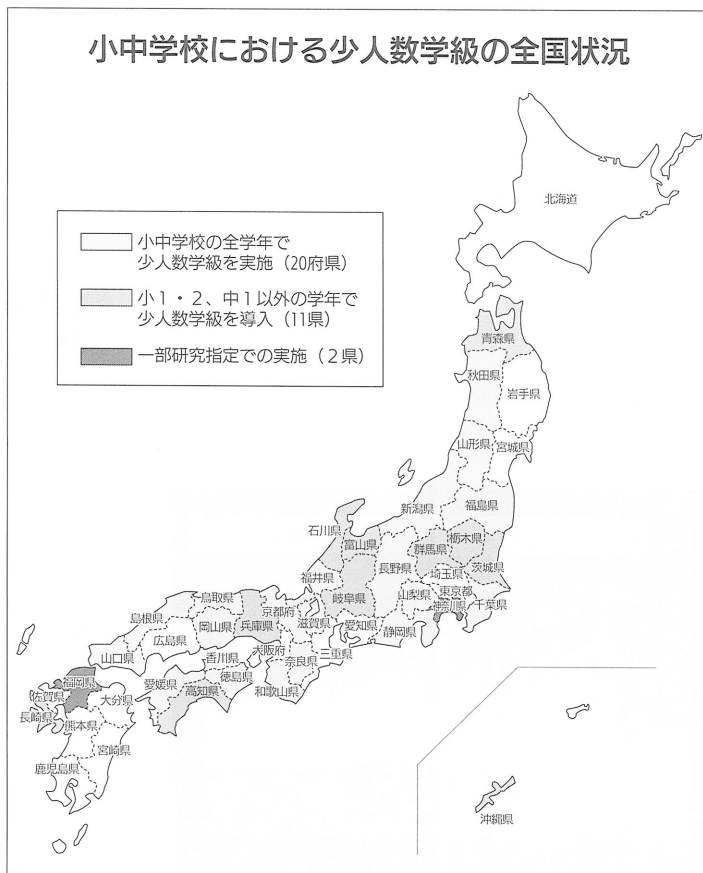
その結果、小・中学校の全学年で少人数学級実施の県が2016年度で秋田、山形、福島、千葉、新潟、福井、山梨、長野、静岡、滋賀、京都、奈良、和歌山、鳥取、島根、岡山、山口、徳島、香川、愛媛の20府県に前進しました。

それに比べ、北海道独自の少人数学級の措置は、中学1年の35人以下学級（1学級は除く）のみで、全国でも最低ランクに位置しています。

道内の市町村でも独自に少人数学級措置が増えています。市町村、都道府県の責任ではなく、国の責任で少人数学級を推進するよう求めています。教育全国署名のとりくみが、全国の少人数学級拡大に決定的な要因になっています。

教職員のみなさん、全国に連帯し、教育全国署名を本気でとりくみましょう。

## 小中学校における少人数学級の全国状況



# 「合同教育研究全道集会2016」 に全道から集まりましょう

今年の合同教研は、11月5・6日、札幌学院大学で開催されます。

毎年、全道各地から「教科書を少しでも工夫したい」「楽しく分かる授業をすすめたい」「地域にねざした授業がしたい」など様々な要求を持って参加者が集まります。

特に、文科省による次期学習指導要領の先取りが始まっている道徳の教科化、小学校外国語活動の教科化、プログラミング教育の導入など、子どもや教員に次々と無理難題が課せられようとしています。

このような詰込み、トップダウンの教育改革をこのまま放置するわけにはいきません。次期学習指導要領の全体像をつかみ、子どもの目線に立ち、教員の自主性を大事にする教育・学校が今こそ求められています。11月の合同教研で学び合い、交流しましょう。

11月5日(土)

◇テーマ討論／9時45分～12時15分

- ①特別支援教育 ②道徳教育 ③主権者教育
- ④アイヌ文化・歴史

今、内容をいろいろ検討中です。

◇若者企画／9時45分～12時15分

## 編集後記

先日、週刊アエラ(朝日新聞社)を購入しました。大特集「先生が忙しすぎる」を読むためです。

「『授業に専念できない』悲鳴と処方箋」、そんな見出しで始まり、日本の中学校教師の平均勤務時間が、OECD調査で世界一の長時間労働だったことにふれています。そして、「2020年以降の学習指導要領改訂により、教師のさらなる多忙化は必至。日本は国際的に見ても教育予算が少なすぎる。まずは少人数学級を実現すべき」と、子安教授(愛知教育大)のコメントを紹介。

また、「反戦は『偏向』か 密告サイトの重圧」との記事では、教育現場に「不偏不党」を求める

今年初めての企画で、若手教師中心に学ぶ場を設定しました。小学校・中学校の授業づくり・生徒指導など気軽に学習・交流する企画です。すてきな講師も予定しています。

◇分科会／13時30分～16時15分

教科・教科外で24の分科会を準備しています。

◇教育のタベ／16時30分～18時30分

～黒澤いつきさんと若者3名とのトーク～

黒澤いつき(元弁護士)さんは、「明日の自由を守る若手弁護士の会」の立ち上げにかかわり、呼びかけ人代表として、神保大地弁護士などと共に活動を行っています。憲法カフェ、講演、紙芝居などで憲法、集団的自衛権など難しい問題を国民に分かりやすく伝えながら全国的な活動を行っています。

若者3名は、学生、教員、保育士さんを予定し、黒澤さんと学生生活、雇用、憲法、平和、教育、子育てなどについてトークセッションを考えています。

11月6日(日)

◇分科会／9時30分～15時

自民党の狙いとして、政権与党がホームページで政治的中立と、偏向教師の告発を呼びかけ、「教育現場を委縮させている。現場への介入が目的か。教師への罰則も検討」など自民党による教師密告制度の異常さを紹介しているのです。

そして、「教育基本法に基づく政治教育が、処罰の対象なりかねない。権力が罰則をもって教育現場に介入することは脅かしでしかない。そうなれば、先生と子どもたちが人格や心を触れ合わせる本来の教育ができなくなってしまう」と、伊藤真弁護士のコメンを紹介。アエラ編集部の方に感謝。

## わたしのとっておき

“とっておき”の写真・絵・短歌・川柳など紙面で紹介できる作品募集。頁下メールアドレスへご連絡を。



【『おおきなかぶ』でおばあさん】

1年生「おおきなかぶ」の1コマ。おばあさんのつもりで被ると「不審者だー!」と子どもに寄ってたかって叩かれました。組合の大先輩曰く「子どもは毛穴で話を聴く。ほっかむり一つで子どもと教師の関係が分かることもあるもんだ」と。

【中里 明雄(登別幌別西小)】



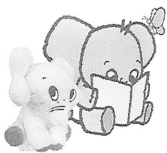
【陽だまり学級】

多忙のため息…。でも、朝、学級で前に立ち、子どもたちの顔を見る。そうすると自然と笑顔になる。曇っていた顔もあの中に入れば晴れやかに。私の学級スローガンは「陽だまり学級」。いつも子どもたちに救われています。

【前田 求(苫小牧市緑陵中学校)】

# 全教自動車保険

「見積依頼」でハーゲンダッツをプレゼント!  
加入するとドライブレコーダーも当たるかも!



小納谷部長  
(川上企画)



出会いがしら事故が増えてきました。  
注意を一方に偏らせず、「右→左→右」の安全確認を習慣づけましょう。

提携 東京海上日動火災  
保険株式会社

### 全教自動車保険加入にあたっての5つの特長

- ①無事故割引を他の保険会社や一部の共済から引き継げます
- ②保険料は給料引去または口座振替
- ③ご家族の車でも、何台でも加入OK
- ④退職者もメリット引き継ぎで安心
- ⑤申し込んだその日から安心

手続き

カンタン

有限会社 **川上企画** (道教組指定代理店)

札幌市中央区南大通西12丁目4-78 ウエスト12 1階  
フリーダイヤル 0120-222-789 FAX 011-218-2472

## 道教組

2016年9月1日発行

発行 全北海道教職員組合 発行者 川村安浩 〒060-0909札幌市東区北9条東1丁目 北海道労働センター 3階

TEL(011)742-0101 FAX(011)742-1001 メールアドレス dokyoso@seagreen.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.dokyoso.net>